

# 視察（研修）報告書

平成 29 年 7 月 18 日

府中市議会議員 様

会派名又は 公明党  
議員名 大本 千香子  
加島 広宣

日 時	平成 29 年 7 月 11 日～13 日の 3 日間
視察（研修）先	岩手県滝沢市 滝沢市役所 岩手県紫波町 オガール紫波
視察（研修）項目	①公共交通整備（滝沢市） ②公民連携事業（紫波町）
参加者	大本 千香子・加島 広宣（創生会 14 名）
視察（研修）内容	・公共交通について ・公民連携の取り組みについて
所 感	①平成 18 年に滝沢公共交通計画を立て、今後必要とされる交通網について推進されたが、この間に社会情勢が大きく変化したため実施できないケースもあった。市職員 1 人で作成されたものであるが、完成度の高い計画であった。 現在、この計画をベースに地域公共交通網形成計画を策定中で市内横断的な取り組みをされていた。 ・スマホを活用した公共交通乗り換え等の情報発信が参考になった。 ・小さな交通需要に対するタクシー等活用は現実的である。 ・パッケージサービス・企画乗車券等は、即実現可能だと感じた。 ・府中市の地域に合ったシステムでなければ、うまく回らないことを痛感しました。市民の意識改革も含めた丁寧な利用者視点での計画づくりを考えたい。 ②紫波町オガール：公民連携事業 ・駅前再開発に伴う紫波中央駅前都市整備事業としてオガールプラザ・タウン・ベース・センター・エネルギーステーションを開発。 ・平成 21 年、オガール株式会社として町の 100%出資で会社設立。詳細な事前調査とテナントを 100%決めて計画の開始で融資や補助金等が受けやすくなっていた。 ・遊休土地の利用・リスク管理をした上での計画と推進・民間活力の利用や公的資源の活用がうまく図られていた。 ・府中市の道の駅、交流センター、観光協会等、今後の活性化にヒントが多く見つけられた。

# 視察（研修）報告書

平成 29 年 7 月 18 日

府中市議会議長 様

会派名又は 公明党  
議員名 大本 千香子  
加島 広宣

日 時	平成 29 年 7 月 11 日～13 日の 3 日間
視察（研修）先	千葉県佐倉市（佐倉市役所） 東京都衆議院第一議員会館
視察（研修）項目	行政におけるファシリティマネジメントについて 介護保険の今後について
参加者	大本 千香子・加島 広宣（創生会 14 名）
視察（研修）内容	①行政におけるファシリティマネジメントについて ②介護保険の今後について
所 感	<p>①ファシリティマネジメントについて佐倉市を視察しました。</p> <p>・市全体の施設管理を総合的に把握しデータを一元化して、ライフサイクルの最適化を目指す取り組みが行われていた。不要な施設、不足している施設、不適切な利用の施設などが見える化されて、施設改革により最高度の利活用が可能に。施設にかかわるコストの削減と市民サービスを確保しながら、最適な施設の確保ができる。また職員のモチベーションが高くなる。</p> <p>・市民一人当たりの公共施設面積は佐倉市 2.04 m<sup>2</sup>、府中市は 6.07 m<sup>2</sup>である。3 倍もある府中市は FM の実施と適正化に早急に取り組まなければならないと感じた。データを生かせるシステムが必要である。</p> <p>②厚生労働省老健局振興課：第 7 期介護保険改革</p> <p>・第 7 期では、地域包括ケアシステムの深化・推進として介護度の改善自治体への財政インセンティブ付与等を新たに計画されており、府中市でも取り入れて、介護度の改善につながられるのではないかと。</p> <p>・府中市が現在取り組んでいる方向性は 7 期でも大きな変化はないと確認できたが、推進のスピードを上げなければ現状に追い付かないのではないかと危機感を感じた</p>